神奈川大学　非文字資料研究センター

2019 年度 第 2 回公開研究会

戦時下紙芝居と現代人形劇の交差点

● 2020 年 2 月 29 日（土）13:00 ～ 17:00　● 神奈川大学横浜キャンパス 1 号館 804 号室

クマがカンカン踊りをするお馴染みのテレビ CM「カステラ一番……」のアイデアは戦前の人形劇にあるとされる。1932 年 1 月上海事変の際に突入・自爆した兵士をモデルとした人形劇「肉弾三勇士」が早くも同年 3 月には上演された。1937 年 7 月支那事変（日中戦争）が勃発した翌年 7 月には日本教育紙芝居協会が発足し、敗戦に至るまでの間に 1000 点を超えるプロパガンダ紙芝居が制作された。敗戦によって価値観は激変し、大政翼賛会主導のもと戦地で銃後で盛んに上演された二つの見世物劇は、戦前・戦中の実態が解明されぬまま、TV・映像文化が普及するなか、児童向けメディアの代表格として、あるいはより洗練された高度な舞台劇として脱皮してきた。大正末期以後の新興芸術運動に淵源をもつ現代人形劇。昭和初期の街頭紙芝居から分岐して 15 年戦争下で大量に流通した印刷紙芝居。ー大正末期・昭和初期におけるその発生と戦時

延期（日程未定）

実演

●

●

講演

●

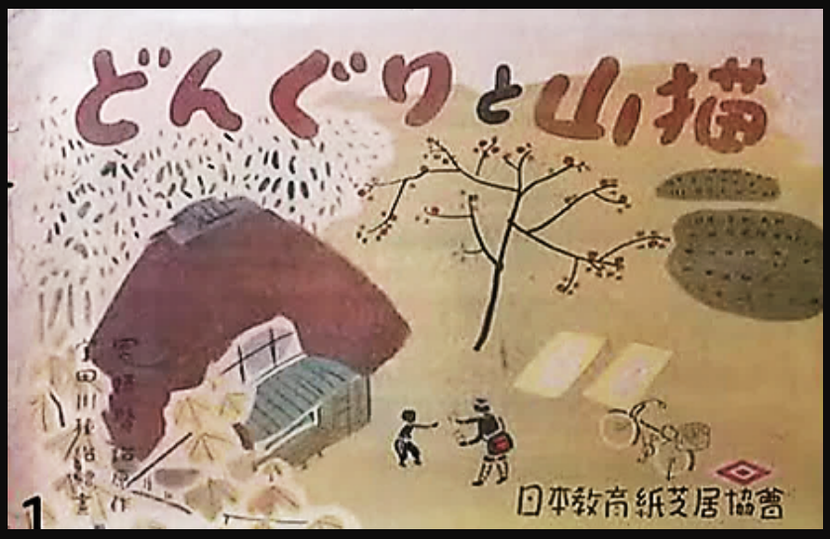
「大正・昭和戦前期の大衆文化と戦争：モダニズム・プロレタリア文化・総力戦」

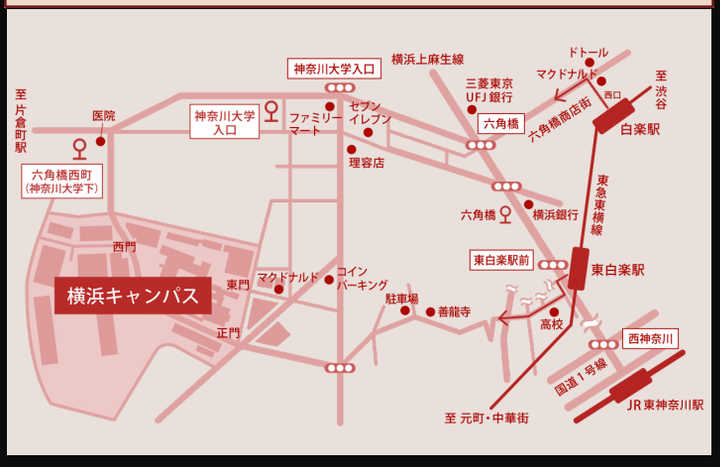
● 人形劇の図書館館長　潟見 英明

「人形劇：新興芸術から子どもと戦争と」

● **質疑応答**

司会 / 非文字資料研究センター研究協力者　原田 広





問い合わせ先： 神奈川大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター　事務室
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
ＴＥＬ:045-481-5661(内線 3532)
HP「神奈川大学非文字資料研究センター」

参加自由 / 事前申し込み不要